Funabashi Municipal Medical Center News

船橋市立医療センターNews No.29

●発行年月日/平成28年7月1日　●編集/船橋市立医療センター広報委員会　●発行責任者/院長　髙原　善治
〒273－8588 船橋市金杉1－21－1　☎047－438－3321㈹　http://www.mmc.funabashi.chiba.jp/

「富良野のひまわり」当院職員撮影

医療連携・患者支援センターが発足しました

船橋市立医療センター院長　髙原　善治

新年度を迎えて、医療連携・患者支援センターを設立しました。このセンターは、チーム医療を効率よく果たすために従来の地域医療連携室と患者サポートセンターを一つにまとめ、この中に地域医療連携室、がん相談支援センター、患者サポートセンターの３つの機能を持たせたものです。これらの機能を存分に発揮させるためには、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、医師事務補助（DA）、事務職の多職種が必要です。今後想定されている超高齢社会において、医療需要の増加に対応する医療資源の増大は困難なこととされています。このために船橋市の医療においても、効率の良い医療を行っていく事が必須となってきます。効率のよい医療を行うためには、医療の機能分化が有効な一つの方法であり、ヨーロッパ諸国ではすでに行われています。急性期、回復期、慢性期の入院治療そして外来での在宅医療と各医療機関・施設が連携を取り、対応していく事が求められています。また、患者さんの皆さんが疾患や治療を良く理解できるように、サポートしていくシステムがますます必要になってきます。

当院では、今後を見据えて地域の医療を担っていきたいと思います。

目次

特集　医療連携・患者支援センター……　2～3
栄養相談ってなに？……4
当院で働く人々／研修医のつぶやき……5
新たな仲間を迎えて／新任者あいさつ……6
救命救急センターの現場から／お知らせ／職員募集……7
外来担当医師一覧表……8

特集

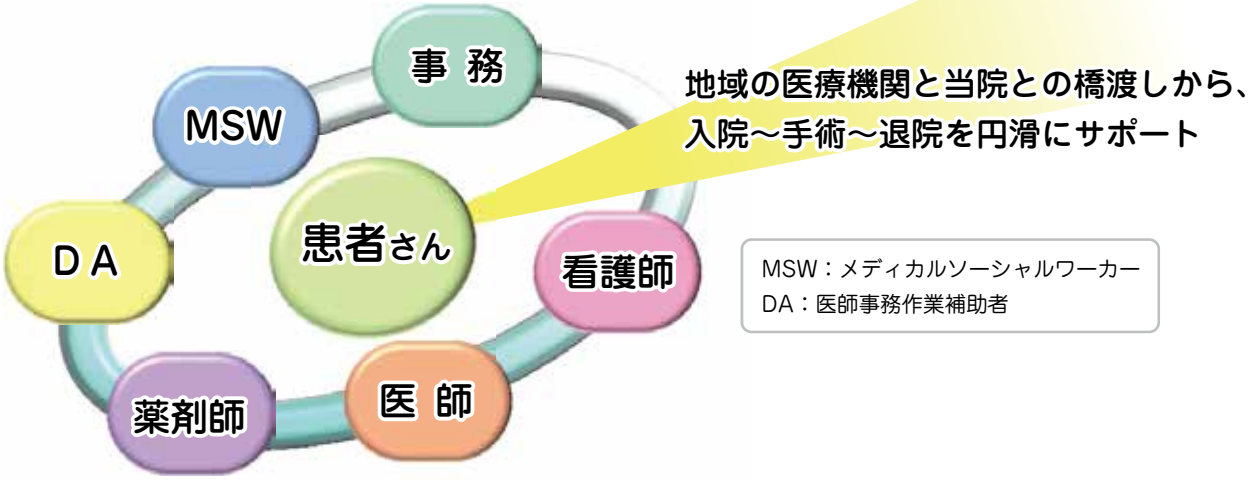
医療連携・患者支援センター

Medical liaison and patient support center

この４月から当院に**医療連携・患者支援センター**という新しい『顔』が誕生しました。少し長くて難しい名前なので、病院の中で何をするところなのかイメージしにくいかもしれません。そこで今回は医療連携・患者支援センターについてわかりやすくご紹介します。

目指すのはワンストップソリューション

『ここに来れば、いろいろな手続きや相談をまとめて済ませられますよ』という意味のワンストップソリューション。医療の中で患者さんに必要となるさまざまな手続きや相談を、多職種が協働してなるべくワンストップでスムーズに済ませられる仕組みを目指しているのが医療連携・患者支援センターです。



実は医療連携・患者支援センターは３つの部門が合体して一つになった組織です。もともと、**地域医療連携室**と**がん相談支援センター**はＥ館、**患者サポートセンター**はＢ館正面玄関横と場所が分かれているため、全体として今はワンストップとは言いにくい状況ですが、将来はひとまとめにしてもっとわかりやすくなるように計画を練っているところです。

それでは、医療連携・患者支援センターの３つの機能について詳しく見ていきましょう。

患者さんに「今日ここへ来てよかった」と
感じていただけるように頑張ります！

地域医療連携室　地域の医療機関と当院との橋渡しをスムースに

地域医療連携室の役割は、患者さんが当院の診察を受けるにあたり患者さんやご家族が少しでも満足していただけるようにお手伝いすること、そして地域の医療機関や介護施設が当院を利用しやすいように支援することです。大きな柱として『適正な退院調整の推進』と、『地域医療機関との連携』があります。

適正な退院調整の推進 地域の医療機関から紹介された患者さんや救急車で搬送された患者さんは、当院に入院した日から、スムーズな退院に向けて支援が開始されます。そして退院後も患者さんやご家族が安心して生活できるように、看護師は在宅療養に向けた支援、MSWは各種医療機関への転院のお手伝いをします。

また当院に通院・入院されている患者さんに安心して療養していただくために、社会的あるいは経済的な問題などさまざまなご相談をお受けしています。

医療連携に関する研修会を積極的に開催

地域医療機関との連携 各種の研修会や『地域医療連携フォーラム』の開催、また情報紙『連携プレス』の発行や地域の医療機関への訪問活動を通じて、当院の機能を広く理解していただけるように努めています。さらに当院では連携医制度を活用して、連携医に登録された医療機関からの外来診療予約やCT、MRといった高度検査機器の予約を受け入れており、紹介患者さんの待ち時間が長くならないようにしています。

がん相談支援センター　がん患者さんと、そのご家族のために

当院はがん診療を手厚く行う**地域がん診療連携拠点病院**で、がんに関するさまざまな悩みや不安、疑問などをお持ちの患者さんやそのご家族のために**がん相談支援センター**を開設しています。

「がんと言われて頭がまっ白になった」、「先生の説明がよくわからなかった」、「だれに相談していいかわからない…」、このような切実な問題について、がん専門相談員の研修を受けた専任の看護師とMSWがじっくりお話しを伺った上で、問題や気持ちの整理をしながら一緒に考え、解決のお手伝いをします。また必要に応じて院内の他の部署や職種とも連携しながら進めていきます。

がん患者さんの相談を受けている専任看護師

がん相談支援センターは当院を受診されていない患者さんからの相談もお受けしています。おひとりで悩まずに、まずはお気軽にご相談ください。

患者サポートセンター　入院手術へ向けて患者さんをバックアップ

入院して手術を受けることが決まると、患者さんは手術に向けて多くの手続きが必要となってきます。入院前からいろいろな検査を受けたり、別の診療科の診察が必要になったり、さまざまな説明を聞いたり、さらには現在使用している薬などのチェックも受けて場合によっては一時休薬が指示されたり…。このような、多くの手続きをワンストップで円滑に支援するのが**患者サポートセンター**、患者さんの強い味方です。

手続きや説明を進めている看護師（中央）とDA（右）

患者サポートセンターでは、入院手術前に必要な検査などの日程調整を行う**DA**をはじめ、各種検査前の注意点や入院から退院までを総合的に詳しく説明する**看護師**、事前に薬などをチェックし、ちょっとした相談もお受けする**薬剤師**、このようなメンバーが皆で協力し、入院手術に向けた患者さんの安全と安心のための『サポート』をしています。

医療連携・患者支援センターは産声を上げたばかりで、解決していかなければならない課題がまだたくさんあります。しかし、ここにご紹介したような仕組みをさらに進めていくことで、よりよい医療を患者さんに提供できるようになると確信しています。医療連携･患者支援センターの今後に、どうぞご期待ください。

医療連携・患者支援センター長　**多部田　弘士**

（文責：患者サポートセンター薬剤師　市原幸洋）

栄養相談ってなに？

栄養相談は、糖尿病、脂質異常症、高血圧、高尿酸血症、心疾患、肝疾患、腎疾患、膵炎、貧血、小児を含む肥満、炎症性腸疾患などの方に行っています。また、今年度からは「がんと診断された方」「飲み物や食べ物が飲み込みづらくなってきた方」「栄養が不足している方」も受けられるようになりました。

新たに栄養相談の対象となる方

「がんと診断された方」

治療前（減量、体力をつけるのであれば効率のよい栄養補給の方法や料理）

治療中（食事に困ったときの対応）

治療後（手術後など治療後の食事におけるトラブル、再発予防の食事）

これらの時期に対して、食事のアドバイスを行っています。

「飲み物や食べ物が飲み込みづらくなってきた方」

飲み込みの状態を医師や言語聴覚士に判断してもらった後、状態に合わせた調理法や、栄養不足とならないような食事の提案をします。

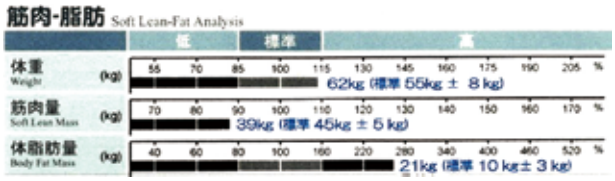
「栄養が不足している方」

まずは料理の工夫ですが、それだけでは難しい場合には、栄養補助食品を利用するのもひとつです。どこで手に入るのか、どんな種類があるのかを紹介します。一人ひとりの食環境を伺いながら、食事のとり方について一緒に考えていきます。

体構成成分の測定について

当院では栄養相談の一環として、医師の指示により体構成成分を測定し、食事のアドバイスを行います。測定結果は、食事や運動の成果として活用でき、モチベーションの維持や筋肉量を減らさないようにすることで寝たきり予防の効果が期待できます。

【結果の例】



体重は標準範囲ですが、筋肉量は少なく、体脂肪量は多い、「かくれ肥満」の状態です。

部位別の筋肉量です。量だけでなく現在の体重に対して十分なのかを調べられます。

他にもむくみの程度や基礎代謝量、骨量などの結果がわかります。

味覚検査について

食事を美味しく感じないという方に味覚の検査を行っています。ご希望の方は担当医にご相談下さい。

栄養相談を希望される場合

栄養相談をご希望の際は、医師へご相談下さい。栄養相談は予約制ですが、当日の連絡であっても可能な限りお受けします。お待ちしています。

栄養相談における地域医療連携

当院以外の医療機関に通院されている方でも、かかりつけ医師の紹介により当院にて栄養食事指導が受けられます。詳しくは当院のホームページの右上「医療関係者の方」にある「栄養食事指導の開放」をご参照下さい。

栄養管理室長　松原　弘樹

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

当院で働く人々 ～看護補助者の仕事～

看護補助者は、看護師が行う医療行為以外の業務をサポートしており、医療チーム・看護チームの一員として看護師と共に働いています。

業務を行うにあたり、定期的に研修を実施しています。

看護補助者の業務は直接患者さんの役に立つ、とても大切な仕事です。質の高い看護サービスを提供するため、患者さんの生活を看護師とともにサポートしています。看護師のパートナーであり、なくてはならない存在として活躍しています。

副看護局長　和田　弘子

★主な業務内容★

- 患者さんの生活環境を整えること（ベッドメイキング、シーツ交換やベッド周囲の清潔・整頓など）
- 患者さんの日常生活を援助すること（移動補助、入浴補助、清潔補助、食事の配膳、食事補助、排泄補助など）
- 診療の環境を整えること（器具の洗浄、備品の管理・点検、事務補助など）

ベッドメイキング

移動補助

食事の配膳の研修

研修医のつぶやき

初期臨床研修医１年　丸山 隼太郎

今年４月から当院で働いております、初期臨床研修医１年目の丸山隼太郎と申します。

過ごしやすい陽気が続く５月、海老川沿いを春の風を感じながら通勤するのが毎日の楽しみです。

住み始めて一ヶ月の船橋市ですが、賑やかな繁華街や閑静な公園などが共存していて都会の雰囲気をひしひしと感じております。船橋駅には東武も西武もありますね！どちらに行くか迷うのが最近の一番贅沢な時間の使い方です。

さて、プライベートの話はこの辺りに致しまして、真面目な話、初期臨床研修に関する話に移ります。今年の初期研修医は全12名中11人が男性（現２年目は男性５人、女性６人）であり良くも悪くも男臭い同期ができて嬉しい限りです。これから初期臨床研修医制度２年間、互いに協力し合いながら切磋琢磨していきたいと思います。

当病院では研修医１年目は消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、麻酔科、救命救急科、脳神経外科を２人で２ヶ月ずつローテートしていき、主に入院患者さんの問診や各種検査などの業務を行っております。大学６年間で医学を学んできたはずですが、実際の臨床の現場では通用しないことや知らない知識だらけで、日々勉強を続けることの重要性を痛感しております。最近では自分自身の未熟さを感じるだけではなく、上級医の先生達の知識の深さ、幅広さに日々驚嘆することばかりです。自分たちがあんな医師になれる日は本当に来るのでしょうか…。日々思い悩みながらも必死に目の前のことから覚えていく覚悟です！覚えることだらけで頭がパンパンになってしまいそうですが、おかげで刺激的で充実した毎日を過ごせております。こんな未熟な私ですが、未熟だからこそ、より患者さんに近い立場でお話しできると思います。些細だと思われる事や関係のなさそうな事でもどしどし教えてください。

院内で見かけたら気軽に声をかけていただけたら幸いです！

誠心誠意頑張りますので、どうぞ、よろしくお願い致します！！

当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

新たな仲間を迎えて

4月1日に平成28年度辞令交付式が行われ、医師21名、看護職45名をはじめとする87名の新たな仲間を迎え入れました。職員は総勢986名となり、28年度がスタートしました。

また、4月15日には歓迎会が院内で開催されました。今後の抱負を述べる者や皆の笑いを誘うユニークな自己紹介をする者など、それぞれの個性を活かした紹介がありました。短い時間ではありましたが、部署を越えた貴重な交流の場として、大いに盛り上がりました。

今後も当院の基本理念である「相互信頼の医療」を胸に、今回採用となりました新たな仲間をはじめ職員一同、患者さんに信頼される病院を目指して邁進して参ります。

新任者あいさつ

事務局長　長島　由和

4月1日付で事務局長を拝命いたしました。

昨年度1年間は総務課長として病院運営に携わってきましたが、4月からは事務局長ということで責任の重さに身の引き締まる思いです。

当院は救命救急センターを有する三次救急病院で救急医療の拠点であると共に様々な診療機能を有し、高度医療を提供することで地域医療に貢献してまいりました。

これからの医療を取り巻く環境は大きく変化して行くものと思われ、当院もこの変化に対応しなければなりませんが、市民の生命と健康を守るという責務に変わりはありません。

これからも当院に課せられた大切な責務を果たせるよう努力してまいります。どうか宜しくお願いいたします。

総務課長　海老根　勝

4月1日付け人事異動で総務課長を命ぜられました。

市では、平成28年第1回定例議会において、『海老川上流地区に地域医療並びに高度医療を担う市立医療センターを移設し、医療・福祉機能をまちの中核とする「メディカルタウン」のようなまちをつくることがふさわしい』との市政執行方針を表明しました。

開院から30年以上が経過し、施設の老朽化、施設の狭隘化等が顕著となる中で、病院の建て替えについて具体的に述べられたこととなります。

実際の建て替えまでには、まだまだ乗り越えなければならない問題もありますが、職種の壁を越えて調整を図り、その一助となることができるよう微力ながら頑張ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

病院ボランティア（患者さんの案内や図書の整理など）を募集しています。詳しくは、医事課まで

TOPICS

救命救急センターの現場から
～外傷～

救命救急センターにはたくさんの外傷の患者さんがいらっしゃいます。当センターは東葛南部の3次救命救急センターですので、より重症な外傷患者さんが搬送されてくるのが特徴です。

高エネルギー外傷と呼びますが、以下に述べる項目に該当する場合は、症状がないからと安心せず、重篤な病態が隠れている可能性がありますから必ず病院を受診して下さい。1)6m以上の高さからの転落、2)車両に跳ねられた歩行者、自転車、3)搭乗者が飛ばされた二輪事故、4)車両事故の中でも車外に放り出されていた、同乗者が即死している、横転した、搭乗空間に高度な変形があった場合、5）体幹を重圧で挟まれた場合などです。現場では救急救命士が判断してくれますので、必ずその指示に従って下さい。

また5歳以下の小児、高齢者、妊婦、心血管・呼吸器系疾患で治療中、肝硬変、極度の肥満、出血性素因を持っている等の方は急速に重症化する可能性がありますので注意して下さい。

当センターでは、救急医が最初に診察し必要な処置を施し、その後、必要に応じて外科、整形外科、脳外科、形成外科、心臓外科、産婦人科、泌尿器科などそれぞれの専門医が治療に関与しています。複数科で治療が行われても、ICUで救急・麻酔・集中治療科が全身管理を行います。外傷患者さんはもともと元気な方がほとんどですので元通りに元気に退院していただけるようスタッフ一同、頑張っています。

救命救急センター長　境田　康二

公開医療講座　次回のお知らせ

第27回
肺がんの診断と外科診療
～現在から未来へ～

ぜひご参加ください

日時：7月14日（木）14：30～15：30
講師：内田　修（呼吸器外科部長）
会場：市民文化創造館（きらら）
費用：無料　　**定員**：当日先着190人
問い合わせ：医事課

心臓病教室のお知らせ

日付	演題
8/4（木）	①心臓の働きと心臓病について ②実は危ない！こんな症状 ～知っておこう体のサインと受診のタイミング～
9/1（木）	①おいしく減塩！はじめませんか？ ②糖尿病とも上手に付き合うための生活の工夫

時　間　13：30～14：30（受付13：00～）
会　場　D館3階講義室　　**参加費**　無料
講　師　当院スタッフ（医師、看護師ほか）

平成28年度 募集概要
看護補助者（パート）募集

●資　格／特になし　　●時　給／1030円
●勤務時間等　8～18時のうち当院が指定する8時間（実働7時間、休憩1時間）
土日祝日、年末年始を含む週5日

※看護師を対象とした病院説明会を開催しています。
※詳細は当院ホームページ（http://www.mmc.funabashi.chiba.jp）をご覧ください。

船橋市立医療センター　　電話番号 047-438-3321㈹

外来担当医師一覧表

平成28年7月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	德長　鎮·〔交替医〕	中村(俊)/柳澤	下山　立志	〔交替医〕	巴山紀子·廣石拓真	新患の㈫は第1・3・5中村(俊)、第2・4柳澤 消化器の㈫関、㈬安藤/石垣、㈭水本/東郷は消化器内科からの予約患者のみ 腫瘍は、肺がん、縦隔腫瘍、原発不明がんが対象
	呼吸器	中村　祐之 藤田　哲雄	天野　寛之 中村　純	廣石拓真·〔交替医〕 巴山　紀子	中村　祐之 中村　純	多部田弘士 天野　寛之	
	消化器	水本　英明	安藤　健 関　厚佳	東郷　聖子 安藤　健/石垣飛鳥	関　厚佳 水本英明/東郷聖子	石垣　飛鳥 小林　照宗	
	代謝	岩岡　秀明	下山　立志	中村　俊介	下山　立志	岩岡　秀明	
	腫瘍	平野　聡				平野　聡	
心臓血管センター内科	循環器内科 予約	内山　貴史 稲垣　雅行	福澤　茂·黒岩信行 沖野　晋一	前川　潤平 稲垣雅行·内山貴史	黒岩　信行	福澤　茂 前川　祐子	※㈬は第1・3・5稲垣、第2・4内山
	新患	前川　祐子	〔交替医〕	〔交替医〕	関根有希子	〔交替医〕	
	心臓血管外科	〔手術日〕	髙原善治·茂木健司	〔手術日〕		〔手術日〕	午後1時30分から　※第1·3·5髙原 ※第2·4　茂木
緩和ケア内科				〔交替医〕	〔交替医〕		午前9：00～　予約患者のみ
精神科	新患		宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要(電話も可)(月)午後のみ、㈭岡和田　午前のみ
	再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦·岡和田景子		
小児科		高橋　香 武井　悠	佐藤　純一 内山　薫	丹羽　淳子 〔交替医〕	木谷　豊 竹本　直輝	伊賀　裕子 坂井　美穂	
外科	消化器・一般	宮崎　彰成 吉岡　隆文	夏目　俊之 佐藤やよい	丸山　尚嗣 野手　洋雅	田中　元 貝沼　修	宮崎　彰成	㈪松崎　午前のみ ㈬丸山　午前のみ ㈬吉原　午後のみ
	乳腺	松崎　弘志		松崎　弘志 仙波　義秀 吉原ちさと	金田　陽子	唐司　則之 松崎　弘志	
	新患	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	
整形外科		〔交替医〕 橋本　瑛子 〔手術日〕	池之上純男 高瀬　完 染谷　幸男	三村　雅也 鮫田　寛明 新保　純	〔交替医〕 秋本　浩二 〔手術日〕	〔交替医〕 〔手術日〕	㈫・㈬は予約患者のみ (紹介状ありは可)
形成外科		〔手術日〕	薬丸　洋秋	薬丸　洋秋	〔手術日〕	内田　龍志	
脳神経外科		内藤　博道 新美　淳 根本　文夫	〔交替医〕 〔手術日〕	畑山　和己 内藤　博道	安間　芳秀 森脇　拓也 〔手術日〕	根本　文夫 畑山　和己	㈪根本、㈬内藤、㈮畑山は、新患患者のみ
呼吸器外科		内田　修 一ノ瀬修二	内田　修 一ノ瀬修二	〔手術日〕	木下　孔明 内田　修·一ノ瀬修二	〔手術日〕	
皮膚科		川島　秀介 井関　梢	川島　秀介 宮川　健彦	川島　秀介 金親　香子	川島　秀介 宮川　健彦	川島　秀介 根岸麻有子	予約患者のみ (紹介状ありは可)
泌尿器科		武田　英男 黄　和吉	佐藤　信夫 樋口　耕介	佐藤　信夫 〔手術日〕	佐藤　信夫 安藤　敬佑	佐藤　信夫 〔交替医〕	
産婦人科		斉藤　俊雄 佐々木直樹	森　麻子 〔交替医〕 〔手術日〕	斉藤　俊雄 佐川　泰一 〔手術日〕	長嶋　武雄 〔交替医〕	佐々木直樹 長嶋　武雄 〔手術日〕	
眼科		小林　悠里 谷口　有子	松枝　美文 〔手術日〕	上原　七生 松枝　美文	上原　七生 小林　晋二	小林　晋二 谷口　有子	㈫・㈬は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		小林　皇一 長坂　強	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林　皇一 長坂　強	〔交替医〕 派遣医師 〔手術日〕	小林　皇一 長坂　強	
放射線治療科		岩井　祐磨	有賀　隆	小池　直義	有賀　隆	有賀　隆	完全予約制
麻酔科		〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	〔交替医〕	午前9：00～11：00　予約患者のみ
歯科口腔外科		村野　彰行	〔手術日〕	村野　彰行	村野　彰行	村野　彰行	
特殊外来	女性専用(内科)			古池　織恵			予約患者のみ
	腎臓内科(内科)			梶原麻実子			午後1:30～ 予約患者のみ(電話も可)
	神経内科(内科)			大原　正裕			午後1:30～　予約患者のみ(電話も可)
	ｽﾃﾝﾄｸﾞﾗﾌﾄ外来(心外)		桜井　学				午後1:30～
	ペースメーカー外来			〔交替医〕			午後1:00～
	小児循環器(小児)	佐藤　純一 竹本直輝·〔交替医〕	村社　歩美	佐藤　純一			午後　予約患者のみ　㈫は第2・4
	小児神経(小児)				林北見·牧野道子		午後　予約患者のみ　月1回
	小児腎臓(小児)				秋岡　祐子		午後　予約患者のみ　月2回
	小児アレルギー(小児)					下条　直樹	月1回 午前9:00～予約患者のみ
	小児外科(外科)				小松　秀吾		
	脳神経内科(脳神経外科)					東　美和	午前9：30～　予約患者のみ

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。